

事業所名

ユニスクジュニア

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

28日

法人（事業所）理念		この社会から「障害」「発達障害」という言葉をなくす						
支援方針		ひとり一人の自己肯定感を確立することを目標とします。自分を見つめ、向上を図るなど自己の在り方に関する思考の発達、そして高校進学を目指す気持ちになっていることを目指します。具体的には、1. 自分らしさを見つけます。2. 同じゴールを目指す仲間ができます。3. 自分で決めて、自分で実行できる力を付けます。4. コミュニケーションできる力を付けます。5. 自分自身の気持ちの変化に気づきます。6. 作業性を高めます。7. 自信につながる自発的な行動ができる力を付けます。						
営業時間		10時	30分	19時	30分	まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	ライフスキル：生活力を身に付け、ひとりで生活したり、家族の一員としてお手伝いしたりできる技術を身に付けます。						
	運動・感覚	エクササイズ：粗大運動機能を育てるプログラムです。バランスボール、体幹トレーニング、ストレッチ・ヨガ、筋トレ、ダンス、体育館での球技などを行います。 微細トレーニング：手指の巧緻性(器用さ)は、日常生活だけではなく学校生活や就労でも重要な役割を果たします。不得意を軽減することを目的に手指ゲーム、作業訓練やアート活動、ペン字などを行います。						
	認知・行動	自分探求プログラム：自分を知るプログラムです。障害理解、自己受容（アクセプタンス）、アフターメーションなどの心理教育を専門家である常勤の公認心理士が提供します。						
	言語 コミュニケーション	人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上を目指します。時と場所に応じた話し方、マナー、敬語、モラルについて学んでいきます。						
	人間関係 社会性	ネットリテラシー：高校生はSNSによる対人関係トラブルやメンタル・ダウン、インターネットを介した犯罪への予期せぬ加担など、様々な危険な状況にあります。自らを守るための適正な活用について学びます。 パソコンスキル：「伝える」をテーマにパソコンの基礎ソフトであるWordやExcel、PowerPointの基礎を身に付けます。 個別チャレンジ：オーダーメイドでカスタマイズされた課題にチャレンジします。学校の課題やAIオンライン授業「すらら」を受講することもできます。 ソーシャルスキル：SSTなどの体験型の学習プログラムを通し、生活上の立ち居振る舞いなどの対人スキルを身に付けます。 集団活動：集団の規律や社会のルールのもと、仲間と共に活動できることを目指し、ゲーム性の高いプログラムを通して主体的・対話的で深い学びを習得します。						
家族支援		個別相談、保護者会、各種セミナー			移行支援		進学、就職、福祉型サービスなど、それぞれの特性と希望と能力に従って進路相談、同行、学校等の連携を行う	
地域支援・地域連携		地域の非営利活動法人が提供するプログラムに参加する 関係機関で役割分担を行うとともに、情報共有・連絡調整を行う			職員の質の向上		職員研修を研修計画に従って実施。新入職員研修は別途実施	
主な行事等		お出かけイベント・体育館でのジュニア合同スポーツの日・クッキング・季節の制作・社会体験の日（電車・バスでの移動とランチ体験等）お誕生会・長期休み無料体験会・クリスマス会・卒業式・スポごみ活動・進路先訪問見学会・ようこそ先輩の日・防災訓練・受験前集中講座・保護者会・セミナーなど						